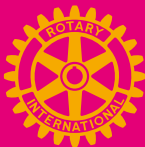


Rotary



# 白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度国際ロータリーテーマ

2020～2021年度クラブ目標

## 『35年目の再構築 ロータリーの源流へ』

会長 吉野敬之  
幹事 堀田一彦



# 第1658回例会

令和3年3月4日 (12:30～13:30)

○ソング

- 国歌 (君が代) ●奉仕の理想

○ビジター

- 白河青年会議所 理事長 成井匠様、専務 近藤有美様、山崎慎二様

○スマイルBOX

- 吉野敬之会長 (本日は成井理事長、近藤幹事、山崎さん例会にようこそ。そして卓話有難うございました。大変な時期に理事長職を拝命するのきつと修練だと思います。頑張ってください。)
- 堀田一彦幹事 (白河JC理事長成井様、専務近藤様、山崎様ようこそ！卓話ありがとうございました。)
- 金田昇会員 (白河JCのみなさま、ようこそ。本日厚生病院にて人間ドックを受けました。おおむね健康でした。)
- 齋藤孝弘会員 (成井理事長卓話ありがとうございました。コロナ禍に負けず一年間ガンバってください。)
- 成井正之会員 (白河青年会議所の皆様ようこそ。長い間、ZOOMでの例会でしたので、一月の初打ちコンペで優勝していましたが、スマイルするのを忘れていましたので、本日スマイルします。)
- 永野文雄会員 (白河JCの成井さん、近藤さん、山崎さんようこそ。又、成井理事長さん卓話ありがとうございました。)
- 青木大会員 (成井理事長、卓話ありがとうございました。日曜日、1ラウンドで2バーディー取れました。ありがとうございます。)
- 佐川京子会員 (お誕生日と結婚記念日のダブルでお祝いいただきました。昨日、春らしいお花のバスケットが届き、とてもうれしかったです。ありがとうございます。JCの成井理事長、卓話ありがとうございました。議会中のため中座します。)
- 佐藤幸彦会員 (誕生日プレゼント、ありがとうございます。運転免許、無事故無違反40年を達成しました。白河JCの皆様、ようこそ。)
- 櫻岡敏之会員 (成井理事長、卓話ありがとうございました。本日は誕生日お祝いありがとうございました。)
- 小林義勝会員 (皆さんお久しぶりです。青年会議所理事長成井匠様、今日はお忙しい中お出で頂きありがとうございます。)

### ▶第1658回例会出席状況 (R3年3月4日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	47名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	61名
Ⓒ ①の出席者数	24名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	2名
Ⓕ ②の出席者数	8名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓕ (メイクアップ補填後の出席会員数)	34名
Ⓗ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓕ)	55
Ⓘ = Ⓖ / Ⓗ × 100 (例会出席率)	61.9%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

吉野敬之会長



皆さん、こんにちは。3月になりまして最初の例会ということで、気候も本当に天気よくまさに弥生というところで開会できる。更には、こんなに大勢のというほどはまだ集まっておりませんが、多分例会が終わるまでには沢山の方がご出席いただけると思

います。ご出席いただきましてありがとうございます。まず、本日はお客様のほうをご紹介させていただきます。白河青年会議所本年度理事長、成井匠様。同じく、専務の近藤有美様。それと、メンバーであります山崎慎二様。成井理事長には後程、卓話をさせていただこうというふうに思っておりますので、楽しみにさせていただいております。見た目ではご存じない方もいらっしゃるかもしれませんが、実は成井匠理事長は当クラブの成井正之様のご子息でございます。残念ながらお母様に似ていらっしゃるようで、多分お判りにならない方もいらっしゃるかと思いますので一応ご紹介だけさせていただきます。更に、専務の近藤有美さんは次年度の矢吹ロータリークラブの会長であります近藤さんのお嬢様でいらっしゃいます。近藤さんもお母様にそっくりだそうでございますので、やっぱり父親似よりはお母様似のほうが良かったかなと。更に、山崎さんは何と金田昇パスト会長の義理の息子さんということで、お嬢様の旦那様でございます。ここはもう、血は繋がっておりませんのでイケメンなのは全然問題ないと思います。以上、3名の方が今日いらっしゃっていただいております。後程、卓話のほうよろしく願いいたします。ロータリー情報を一つ。先日、地区大会のほうのご連絡がございまして、いろいろと地区大会、去年の秋から今年の春に日にちを変更しまして、今年の春もできれば皆さんと顔を合わせてというふうなことで計画をされていたようですが、先日、こういう会をRIの事務局長からできれば飲酒するような会は好ましくないというような支持がございまして、それに乗っ取りまして今年度の地区大会はオンラインで開催すると決定いたしました。皆様のほうには、このオンライン開催の概要を後程ご連絡して出欠を取らせていただきたいと思います。お時間は取らせないという形で、行ったり来たりということがないので、残念ながら帰ってきてからのやまおろしというのもないんですが、是非多数ご参加いただければというふうに思っております。今日は月始めということで、いろいろと行事が立て込んでおりますので、会長の時間は以上とさせていただきます。本日もよろしくお願いいたします。

### ■幹事報告

堀田一彦幹事

- ロータリーの友の会委員会 委員長 代表理事 鈴木宏：新型コロナウイルス感染症に関する友事務所対応の件（第9報継続）
- 白河赤十字奉仕団 委員長 安澤荘一：令和2年度白河赤十字奉仕団第3回委員会中止について
- 国際ロータリー日本事務局財団室：RI日本事務局財団室NEWS2021年3月号
- 国際ロータリー日本事務局 事務局長 小林宏明：日本事務局「在宅勤務延長」のお知らせ
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナー 石黒秀司、職業奉仕委

- 員長 初瀬昭夫：中学生によるインターンシップ（職業体験事業）について
- 社会・国際奉仕委員長：社会・国際奉仕活動アンケートのお願い
- 国際ロータリー日本事務局業務・IT室：水と衛生月間リソースのご案内
- 国際ロータリー第2530地区2019-2020年度 ガバナー 芳賀裕、公共イメージ・IT委員会 委員長 相良元章：地区アクション表彰2019-2020年度「END POLIO賞」エントリーのご案内
- 国際ロータリー日本事務局経理室：国際ロータリー日本事務局経理室より2021年3月RIレポートのお知らせ
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナー 石黒秀司、地区大会実行委員長 太田宏：地区大会オンライン開催のご案内
- (株)フジマキネクタイ：フジマキネクタイより次年度へ向けてのお得なキャンペーン
- (株)オクトン：カタログ送付のご案内及び商品価格の改定について
- (株)フジマキネクタイ：カタログ2021-2022
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナー 石黒秀司、ガバナーエレクト 志賀利彦、地区研修リーダー 平井義郎、次期地区研修リーダー 芳賀裕：会長エレクト研修セミナー（PETS）開催のご案内

### ■委員会報告

#### ○親睦委員会

櫻岡敏之委員長

#### ・誕生日

- 矢田部錦四郎会員、佐藤幸彦会員
- 佐川京子会員、三瓶徹会員
- 櫻岡敏之会員



#### ・結婚記念日

- 片倉義文会員、佐川京子会員
- 松永紀男会員、吉成真五郎会員
- 三瓶徹会員、藤田和克会員



#### ○雑誌広報委員会

横田俊郎委員



皆さん、こんにちは。雑誌広報委員会の横田でございます。今月の「ロータリーの友」の見どころをご紹介させていただきます。まず、横組み開きまして3ページに「会長メッセージ」ということで、ローターアクト週間についてのコメントが出ております。非常に力を入れていらっしゃるということがわかる内容となっておりますので是非ご一読ください。それから5ページは、3月は「水と衛生月間」ということで、それに関する記事が掲載されております。その中で11ページに、黒磯

ロータリークラブということで、白河からも近い那須塩原市黒磯地区のロータリークラブの「私たちの水は本当にきれいなのか」というタイトルで記事が掲載されております。続きまして、14ページからはローターアクターの活動ということで、コロナ禍ということもいろいろアイディアでこの今の時期を乗り越えようということが記載されております。マスクを作ったりとか、あとクラウドファンディングを使って支援したりとか、そういった今の時代ならではの活動が記事となっております。それから、19ページからはシェカール・メータR I 会長エレクトのメッセージとあります記事が出ております。タイトルは「大きな夢を大きく実現」ということで、非常に読み応えのある内容で、21ページの上に写真とメッセージがありますけれども、ロータリアンボランティアと、ボランティアであるということは何かしたいということということで、奉仕をするということが大切というメッセージが書かれております。次の22ページからは、3月11日、10年前の東日本大震災から10年ということで、それに関する被災されて地区のロータリーの記事が載っております。22ページは、岩手県山田ロータリークラブ。それから24ページには、福島南ロータリークラブの廣澤様の記事が書かれております。10年前の出来事ですけれども、読み返すと本当につい最近の事のように思い出される内容でございますので、是非ご一読いただきたいと思います。それから、最後は連載コミックが出ておりますので、こちらも是非目を通していただければと思います。縦組みのほうでございますが、4ページからは長岡造形大学の助教授、福本さんという方の「企業による共助」ということで「業助」という言葉をお使いになってらっしゃいますが、これに関するお話が載っております。それから最後に28ページですね。「ロータリー・アット・ワーク」のなかで、こちらも福島ロータリークラブ「創立70周年記念で計70本のモニワザクラを植樹」という記事が出ております。以上、「ロータリーの友」の見どころご紹介でございます。

## ■本日のプログラム

○公益社団法人白河青年会議所 第63代理事長 成井匠様



皆さん、改めましてこんにちは。ご紹介いただきました、公益社団法人白河青年会議所、2021年第63代理事長を務めさせていただきます成井匠と申します。どうぞよろしくお願いいたします。平素は、先程紹介いただきましたように父がお世話になっております。また、このような機会をいただきまして本当にありがとうございます。それでは、私のほうから今年の2021年の白河青年会議所の活動について少しお時間をいただいて、話させていただければと思います。2021年のスローガンです。「不易流行 挑もう歴史に謙虚に未来に果敢に」。残念ながら2021年もコロナが収まることはなく、コロナに振り回されるようなスタートになってしまいました。その中で私たちがじゃあ何ができるかということ考えた時に、やはり時代が変わってきているということを念頭に置いて、時代に合わせて変えられるべきところは変えていこう。そして、守るべきところは守っていこう。そんな意気込みでつけたタイトルになります。実際に白河青年会議所は3年前に60周年を迎えまして、人間でいう還暦を迎えた年を過ぎています。歴史というのは60年で一回り回るといような話をされた時

に、じゃあ今まで先輩方から脈々と受け継がれてきた大切なものって何だろうか。それと同時に、私たちが時代に合わせて変えていってもいいと思うものは何だろうか。こういうものをメンバーの一人一人に問いかけながら、必要な時にはやはり恐れずに変えていこうというところを、未来に果敢にといところ。そして、今までやってきた中でやはり変えてはならない私たちが守ってきたものというものを、歴史、謙虚にとい形で表させていただきました。皆様に不易流行を説くのは釈迦に説法というか、必要のないようなことかもしれませんが、一応説明させていただきます。メンバーに説明した時には「とらや」の羊羹の話をしていただきました。「とらや」の羊羹、有名な和菓子です。聞くところによると400年と続いている和菓子屋さんなんですが、こちら実は味ってというのは何回か変えているそうです。本質、つまり不易の部分がある何かと考えた時に、美味しい和菓子であること。美味しい羊羹であることと考えた時に、実は時代に合わせてその味は変えていってもいいんじゃないか、そういうふうを考えて「とらや」さんはその年に合わせて甘さを控えめにしたり、甘めにしてみたり、もしくは体裁を変えてみたり、そういうことをやってきたという話を聞きました。何百年も続いている企業でも、やはり時代に合わせて変えるところを変えていかないと、時代に即していない場合のところ置いて行かれてしまう。そういった話を聞いた時に、私達JCも60周年を迎えて、それじゃあ60年前と今とで違うところは何か。そういうことを話をしながら、今まで守ってきたものこれから変えていくべきところを変えていこう、そういうような話でメンバーに方向を示させていただきました。それでは、ここからは白河JCの活動紹介です。とはいえ、実は2021年の1月1日からJCのほうは理事長は切り替わります。ですので、私の代になってからはまだ2か月しか経ってなくて、しかも1月の時点では白河のほうでクラスターが発生したり等々ありまして、実際のところやはり活動が難しい状況にありました。経済の復興を経営者として取るか、もしくはメンバーの健康を取るか、そういうような悩みにあたりながら、一つ一つできることから進めてきました。というわけで、実は今年に入ってから活動というのは、まだ総会を開いたというところ、あとはこの後紹介しますが、二月定例会を開いたところにとどまっています、新年会とお客様を呼んで方針発表等、毎年させていただいていたんですがそちらのほうができなかったのであまり資料がございません。なので、2020年10月、実は私がこちらJCの全体事業を受け持たせていただいた時。こちらの時も、もうコロナというのは去年の3月なのでスタートを切っていて、その状態に合わせて何かできないかということを考えてやらせていただいた事業がありました



ので、こちらから紹介させていただければと思います。ちなみに前年度、片野理事長がこちらのほうに西ロータリーさんの卓話にお招きされて喋った時に、私同伴しましてこちらのほうの事業をPRした、そんな記憶がございます。あの事業の結末です。2020年10月10日、「撮って食べて探そうウォークラリーin白河」というタイトルで、実は事業を展開させていただきました。この事業の狙いにあったのは、コロナ禍でも出来るイベントの提案。特に今年に目標としていた、時代に合った手法の提案をしていこうと思った時に、それを背中で示せるようにまずは先駆けて自分の中でコロナ禍でも出来るイベントって何だろうと考えて企画いたしました。その中で、一番考えていたのは、やっぱり人には会わないということ。その時期、去年の10月の時期は、白河はほとんど感染者はいなかったです。けれど、なんか外に出ることは悪のような形になっていて、飲み屋に行くのもほぼほぼアウトで、外食もなんか行ってはいけないんじゃないかなというそんなところの雰囲気がありました。それをやはり、正しく恐れてほしいというのを発信したいと思って、この事業を考えていました。ただ、今までのイベントって人と会うことが前提で出来ているので、実際にお祭りもそんなんですけど、そこに人がいなかったら参加している感触というのがないんですよね。だから、ウォークラリーをやると言った時に人と会わないんだけど、でもなんか人と会ってると一体感があるような感じというのを演出したい。これ結構、矛盾したテーマだったんですけど、これをどうにかして出来ないかというのを一番に考えていました。そして、4つ目ですね。動くことをやめないで工夫を続ける姿勢を見せたい。これが今年のテーマに引き継ぐこのウォークラリーの裏テーマです。白河JCは動きを止めなかったよ。どうにか工夫してやったやろうという気概を見せたかった。これがこの事業のテーマでした。内容としては簡単なイベントでした。マップを作りまして、それを会わないようにラインで配信しました。そして、指定されている場所、地図に載っているんですけど、探して家族で写真を撮ってラインで白河JCに送ってもらう。こういう事業でした。この事業を企画した後ろの背景で、そのコロナ禍で一番何が困っているといった時に、国のアンケートだったんですけども家族の時間が増えたというところにあがっていました。今まで外で出た人が家にいるので家族の時間が増えたんですけど、どうやって使っているかわからない。それがストレスになっている。すごい話ですよ。僕らが今まで外に出てたんですけど、家に帰ってきたらそれがストレスだって言われるってすごい悲しいことだなとは思ったんですけど、そういう状況がある。そして、外に出ても別に構わないはずなのに運動不足になっている。公園もその当時だと、利用しているのかよくないのかわからないところがあったので、そういう問題がありました。だったら、逆に家族の時間が増えていることと、運動不足を解消してあげるということを中心に事業を組んであげればいけないと思ってウォークラリーの形にしました。ラインの活用は、先程言ったどうにか会わなくて済む方法、それが非接触型ということでラインを使わせていただきました。そして、ここには書いていないんですけど、この状況で一番最初にターゲットにしたのは、今までは白河地域の市民全体とかがって私たちは言っていたんですけど、明確に小学生の子供を持つ親子みたいな形で考えていました。つまり、子供たちを持つ親子にヒットして、その人たちが歩いて運動不足を解消してご飯を食べればいい。

そういうような事業を組んでいました。そういった小学生にヒットさせる仕掛けとして、当時ニンテンドースイッチというゲームで「どうぶつの森」というゲームが流行っていたんですけど、それをご存じですかね。これは知ってる人は知ってると思うんですけど、実はコロナの流行りがけにニューヨークの博物館とかで同じようなことをやっていて、このゲームが世界的に流行ったんですよ。ゲームの中で、博物館のデータを開くと有名な絵が自分の家の中に飾れるとか、有名な像が家の中に飾れるというような、そんな仕組みがありました。それに乗っかりましてダルライザーとコラボして、ダルライザーの服、白河のだるま、小峰城、こういったデータをこさえて、指定された場所に行くとこのデータが貰えるというような仕組みを作っていました。これで子供たちはゲームの中でダルライザーの服が着たかったら、そこまで歩いて行ってそこに立っているお兄ちゃん達から紙を貰ってダウンロードしてというような、そんな仕組みを作っちゃったアトラクションにしてみました。そして最後に、参加者に食事券を配りました。この当時から、もう飲食店のほうが売上げがかなり激減しているという話を聞いて、どうすればいいかわからないって言っている話を聞いた時に、飲食店の組合さんと話をしまして、JCのほうの事業費は今までイベントにキャラクターとかショーを呼んでいた部分、それをすべて参加者の食事券、これは一人千円分だったんですけどこれに回しまして、4人だったら4,000円気前よく配る。そんな形を取りました。狙いとしては、その4,000円を持って行って飲食店でご飯を食べて歩き回っている間に活性化してもらいたい。できれば、それは地元で落としてもらいたい。もう一つの狙いは、ランチなので1,000円って必ず余るんです。だから、1,000円で800円のランチを買おうとした時に、じゃあ200円もったいないと言って400円のジュースを飲む。そうすると、200円の追加の経済効果が出て考えて、こちらのほうを設定しました。こちらの結果もあとで話させていただければと思います。そして、事業当日です。白河JCについて詳しい方だったら知っているかもしれませんが、実は去年一昨年の金子理事長、去年の片野理事長、どちらも物凄い雨男なんです。2020年の10月10日、体育の日、晴れの得意日だと言われたこの日にやってきたのは台風でした。本当にびっくりするくらいに台風直撃のコースに入っていて、恵まれすぎたくらいの雨と風だったんですが、そこまで強くないので開催しようということで開催に踏み切りました。やっぱり、台風だったので駄目かなと思ったんですけど、実際ふたを開けてみると登録目標の400人に対して参加してくれたのは479人で、ポイントは10か所設定して、うち2か所がちょっと滑落とか滑って怪我する恐れがあったので中止しまして8か所にして、そのうちの1か所でも回ってくれた数、これが70パーセントで、食券の発行した枚数が454枚に対して使用率が99.1パーセント。何と450枚を市内で使ってもらうことができました。白河JCのラインを使ったというんですけども、ラインも公式ラインという普通だったらお店とかで使うやつですね。こちらのほうを起ち上げて、そこに登録してもらったのが211人ということでこの事業、実は今までは体感できなかったその台風とか天気が悪いといった時に人が来なくなる現象を跳ねのけてくれました。もっと言うと、その中で台風でも開いてくれてありがととか、雨の中お疲れさまと言ってくれた参加者からの感謝の声というのが現場で聞けて、どうでしょうか皆さん、ウェブ会議とかウェブ例会とかをずっと続けていると、その

会に入ってやる意義というのが、なんかメンバーの中でも薄れるということはないでしょうか。実は、JCはちょっとそういうきらいが去年出てきていまして、なんか何で集まらなくちゃならないんだろうねとか、なんで頑張らなくちゃならないんだろうねとか、ウェブだったら集まらなくて楽だよねというようなちょっとした流れになった時に、その事業を開くことで本当にお疲れさまと直の音が響いた時に、メンバーもやる気がすごく回復しました。やっぱり、イベントで人と会うというのは必要な事なんだなと思いました。こういったトライを重ねまして、新しい手法へ挑戦する事というのは絶対に悪いことじゃない、むしろ手ごたえを得たというのが、実は今年の2021年のそれだったら変えるべきところは変えて、とにかく歩みを止めない会であろうよという一言に自信を持って繋げることができました。そんなわけで、こちらはちょっと小さくてすいません。事業の写真なんですけど、メンバーはどういう事をやったかという、当日は現地に行って看板を持っているんですけど、ここはポイントですよという看板を持っていてお客さんが来たらそれを渡して、そして写真を撮る手伝いをしてまた返すというような形なるべく人と会わない。けれど、人が来たらおもてなしを出来るというような体制を取りました。そして、こちらが参加者の写真です。看板を持って写真をラインで送ってもらうという形で、しかも先程説明し忘れてましたが開会式、閉会式もオンラインでやりました。ラインを見てると、ラインにこれから開会式しますので動画見てくださいねとポコッと送られてきます。閉会式の時は、これで終わりますというような動画がポカッと送られてくるんですけど、実は参加する時間帯はフレキシブル、参加者の都合のいい時に参加してもらって、都合のいい時に止めてもらっていいよというようなすごい自由度を高めに設定していました。おかげで、午前中は例えばピアノをやっていたので塾に行って行けなかったけど、午後でご飯を食べてから2か所くらい回りましたみたいなお客さんもすごく参加しやすいというような意見をいただきました。そして、メディアですね。こちらは、10月10日に頑張っって事業を実施しますよといったPRの記事になります。そして、こちらが当日参加していただいた記事。子供たちも今まで全然外に出れなかったのに、こういうようなイベントで楽しめたとか、今まで外に出るきっかけがなかったけれどご飯食べてもいいんだと思うことができたというような反響をいただきました。そして、最後ですね。これは、私たちが心の底から嬉しかったことです。参加者のほうが、インスタグラムとかSNSのほうに勝手に投稿して、今日の事業は良かったよとか、こういうふうに遊べば良かったんだというような形のものを呟いてくれました。特に、右側の記事になった菊池菜穂さん、こちらの方は西郷にお住まいの方なんですけれど、特に頼んだわけでもなくて民友新聞によせていただいた記事の中で、こうやって地域の魅力を青年のたちが率先して、地域だけに益が落ちるように何とか工夫を凝らしてやってくれるということはとても嬉しいことだと思ふみたいな形の文章を載せてくれました。これを読んだ時に、やっぱりやって良かったなと思いました。こちらが今、2020年の10月に開催しましたウォークラリーの結末という結果になります。それで先程、冒頭に申し上げましたようにメンバーの皆さんにはとにかく歩みを止めることなく工夫して、青年ならではの挑戦を続けていこうよというのが、今、皆様に言っているところです。総会を経た2021年2月の定例会なんですけど、こちらに

ついては例年白河JCでは2月には市長をお呼びして例会を開くんですが、こちらもちょうとやり方を変えてみました。この時は、ズームも良かったんですけど、企画者のほうがユーチューブライブという形で、事前に撮った動画で定例会をやってみたいという挑戦をしたいということなので、もちろんやっていいと思うという形で開催させていただきました。本当に事前に白河市長と1時間程話をさせていただいて、それを動画として綺麗にまとめていただいて、実際の定例会の時に放映する。その放映という形が集まることがなかったので、よしとするか否かというのはまた反省の残るところでもあったんですけど、実際のところはそういう挑戦でやってみないとわからないところもあるし、やったからこそこれはいいねと思えたところもあるので、こういう挑戦を続けていきたいと思っています。そして2021年3月18日、これは今月開催予定の定例会になります。ズームによるセミナー付きの定例会になります。お題は、女性に焦点を当てて、今女性で活躍しているカフェのオーナーと、あと保険屋さんだったかな。この方お二人を講師としてクロストークしていくのをズームで放映するという形なんですけど、放映先は現地のカフェで設営するというふう聞いてます。それをメンバーは自宅なり、どこかでズームで参加して見てもらうというような形で、今までだったらJCはJC会館という所でそこで集まったりとか、外に出てもカフェでやるようなことはほとんどなかったんですけど、女性が入ってきた時にその会員拡大とか、参加しやすさとか、どうしたら得れるかというものを考えるためにカフェでやるということで、こちらのほうも3月18日、工夫を凝らしてやっていくような流れになっています。こちらに関しては、観覧者という形でオブザーブもできますので、是非興味ある方は見ていただければと思います。というわけで、以上三点が主な説明になりましたが、とにかくやはり本気で盛り上げていこうという気概で今挑んでおります。おかげ様をもちまして、先程言った山崎君とか、あとは最近新入会員の方がだんだん増えていってます。そういった形で、みんなが動けない時だからこそ歩みを止めずに背中やっていく姿勢を見せるという会でありたいなと思っております。是非今日の中でも見ていただいて、例えば息子さん娘さん、もしくは会社のコアメンバーでJCに一年でも二年もいいから参加させてみたいと思う方がいらっしゃいましたらお声がけいただければと思います。というわけで、私の2021年の活動報告とさせていただきます。ご清聴ありがとうございます。

#### ○謝辞

吉野敬之会長

今日は、成井理事長にいっぱいお時間を残そうと思って進行を早めていったわけですが、実は若干時間が残っておりますので、謝辞を述べろということでございますので、少し述べさせていただきます。去年の片野理事長、それと今年の成井理事長、私も去年の7月から会長職を拝命させていただいて、その前任が中目パスト会長、こちらもJCのOBですのでご存じかと思っておりますけれども、非常にこのコロナという状況下でいろんな制約がある中、運営が非常に片野理事長もそうだったでしょうし、私の前任の中目さんもそうだったと思います。正直、私は去年の7月に自分に移る時に、3月4月の頃もう7月くらいには大丈夫なんじゃないかなと甘く考えておりました。ところが、皆さんご存知のように現状は刻一刻とといますか、良くなったり悪くなったりとい

う形で計画していたことがなかなかできない。実施できない。やっぱり、片野直前理事長におかれましては地区大会というもの30何年振りですかね。開催するということに非常に注力していたところ、やっぱり中止に追い込まれたというのは非常に残念な結果だと思いますし、それに付随して去年計画していた事も先程ご説明ありましたようなウォークラリーに関しましても、非常にああゆう状況下であれだけのことを考え出した皆さん方が素晴らしいと思いますし、やっぱり若い力ってすごいなというふうに感心したわけですが、本当にそういう状況下の中でやっていくのは大変だという気持ちは、もう本当に私も共鳴するところがございます。ただ、こんな状況下でもやはり私たちも会を運営していかなければいけないという中で、その運営する力を養えと、みんなで作り出せと。これは神様が言われているのかなというふうにも思いますし、確か記憶は定かじゃありませんけど青年会議所の三信条。修練、奉仕、友情、ですかね。その修練という部分は、きっと個人個人の良い時、良い環境の状態での運営の仕方。それも修練でしょうし、やはり今はこういう厳しい環境下の中で運営していくのもきっと素晴らしい修練に繋がるんだなというふうにして頑張っていたらいいかなと思います。私たちはもうそろそろ修練をする時期がなくなってきている年齢ですので、奉仕に傾いていって行くわけですが、青年会議所のほうにも奉仕という言葉が入っておりますので、共に活動できる部分も非常に多いかと思っておりますし、是非同じ地域の団体として地域を良くして活性化させるためにという思いは一つだと思いますので、共に手を取って白河を良くするために頑張っていきたいなというふうに思う次第でございます。ちなみに、一番最初の時に国歌斉唱が流れるわけですが、これは全然こういう団体に所属してない方ですと、JCもJCソング歌えという、何だこの団体と言われるわけですが。ロータリーは国歌斉唱を歌うんですが、お気づきになられたかもしれませんが、非常に西ロータリークラブはお行儀がよろしくて、躰が良いものですからみんな直立不動で指先を伸ばしてズボンにあてるというふうに教育を受けてまして、さっき見てたら確かにうちのクラブの人ってそうやってるんですね。これもクラブの教育だなと。これはうちの永野バスト会長が口を酸っぱく、梅干しの30倍以上酸っぱく、とにかく指をつねらんばかりの勢いで教育の賜物でございます。これも皆様にもいづれ奉仕繋がりですとロータリーに入ってくるやもしれませんので、JCメンバーの方々にもお伝えいただければと思います。時間を延ばすのに、35周年の招待状を渡せと幹事からお話あったんですが、今日実行委員長がいませんので謝辞とはちょっと違うんですが、実行委員長が今日欠席ですので先日決まりました35周年の概要につきましてちょっとご説明をさせていただきます。35周年はいろいろと検討させていただいたんですが、ズームと実例会の併用、今の例会と同じようなハイブリット型で開催するというにさせていただきました。それで、4月10日の実施日は変わらず、式典だけをおこなって当日の懇親会は行わないと決定させていただきました。それに伴いまして、会費はご案内する方には会費は無料で出席いただきたい。そして、各クラブからは今年度の会長、幹事、そして会長エレクト、幹事予定者の4名を7クラブに案内するという事で、総勢100名ほどで式典を行う予定です。姉妹クラブにおかれましては、遠方より来ていただくのも、まあ式典だけなのでということでズームによる参加を各会長にお願いをいたしました。沖縄コザロー

タリーの川中会長は、実はほっとしたと仰っていました。でも、またいづれ絶対行きたいし、来年がコザさん60周年なので、是非60周年には皆さんとフェイスツーフェイスで会って懇親を深めたいねなどというふうなお話を仰っていました。それと、翌日のゴルフに関しましては、記念コンペはわたくし共のクラブのみで開催を行うと決定させていただきました。もちろん、近隣のクラブですとか、その他近いロータリー関係者の方で参加したいという方がいれば参加もやぶさかではないんですが、一応、メインは白河西だけで行うというようなことで検討させていただいております。記念品その他は、今検討中でいづれ正確に決まりましたらその都度お示しをさせていただきますと思います。来賓といたしましては、従来どおり白河市長、西郷村長、それと白河クラブ会長、石黒ガバナーの4名を予定しております、石黒ガバナーのほうにはお電話でその旨お伝えしたところ、ほぼ二つ返事でした。やっぱり、これ片野理事長や成井理事長もそうだと思うんですけど、非常に会長職って責任がある中で受けて、覚悟を持って受けると思うんですけど、その中で覚悟がなかなか示せない、出番がないというジレンマは皆さんあるんじゃないかなあと。石黒ガバナーもですね、やっぱりそういう思いは非常に強いのかなというふうにも思います。私もちょっと気を使ってズームでも結構ですよとか、事前に祝辞はビデオ撮影でも結構ですよという話をしたんですが、「いや、行きます。」と、その日は絶対用事を入れずに行きますと断言されておりましたので、久しぶりに周年等にガバナーがいらっしゃると、そういうふうなある意味記念すべき会にもなるのかなとも思います。最後になりますけど、さっき成井理事長が仰っていました。どうしてもズームとか顔を合わせない例会を続けると、モチベーションが下がるのではないかなというふうなお話をされてました。正直、私もそう思っております。何とか、これをやっぱり顔と顔を合わせて楽しい例会にしたいわけですが、なかなかそれは各人のしきい値、危険度のしきい値も違いますし、事情があり皆さんに参加を強く促すというふうなことができない現状でありますけれども、やはりズームの参加をOKですと言った時点で、なんとなく例会に対するハードルが下がっているのではないかな。出席に対するハードルが下がっているのではないかなというふうに、日夜自分を責めております。多分、髪の毛が一か月前よりもかなり薄くなったのではないかな。執行部のやはり出席率は責任だと感じております。この中でどうやって出席率を上げて、まあ簡単にいうと楽しけりゃ出てくるんですね。出席者は1回10万配るよと言ったら、多分100パーセント来ると思うので。そういうふうな、楽しいメリットがある会をもう一回きちんと構築しなくちゃいけないなと、成井理事長のお話を聞いて改めて思いました。これだけ良い話をしたので、是非成井理事長、35周年式典にお越しください。この場で近藤さんの分も一緒にお渡ししておきます。よろしくお祈りいたします。本当に今日はありがとうございました。

